

センサーライトの最高峰

RITEX  
ライテックス

W-800

# センサー時代

## 無線センサー セット 取扱説明書

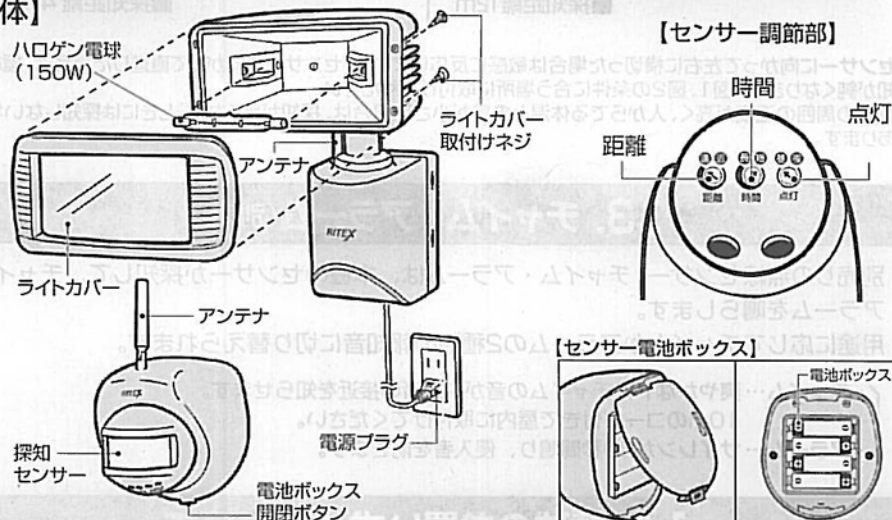
この度は、ライテックスのセンサーライトをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
本機を正しくご使用いただくために、必ず取扱説明書をよく読んでください。

### 注意

- 組合せ自由…用途に応じ本機と別売りの W-810 (センサー)、W-820 (ハロゲンライト150W)、W-830 (センサー付ハロゲンライト150W)、W-840 (チャイム・アラーム) とを組合せができます。
- 以下の機種にも対応しています。
  - RITEX…C-800 (録画カメラ400shot)
  - PAXON ファイヤレスシリーズ…PX-900 (センサー180°ライトセット)、PX-910 (センサー180°)、PX-920 (ライト)、PX-930 (ライト一体型センサー180°)、PX-940 (ボイス付きチャイム&アラーム)、PX-950 (ソーラーライト)、PX-960 (リモコン)

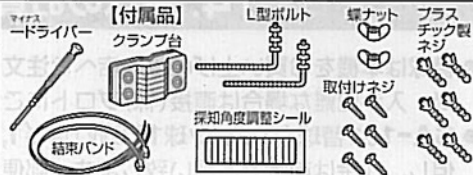
### 1. 部位説明

#### 【本体】



#### 電球の取付け方

- ライトカバー取付けネジ 4本を外し、ハロゲン電球を差し込みライトカバーを取付けます。  
※ ハロゲン電球は手袋か布を使って素手で触れないでください。



### 2. 仕様

#### センサー

電 圧	DC6V (1.5V単3アルカリ乾電池4個) ※別売り
電 池 寿 命	1日20回センサー反応 約半年
消 費 電 流	7mA (電波発信時)
発 信 周 波 数	315MHz
電 波 到 達 距 離	W-820 (ハロゲンライト150W)、C-800 (録画カメラ400shot)、PX-920 (ライト)、PX-950 (ソーラーライト) に対して…見通し30m W-840 (チャイム・アラーム)、PX-940 (ボイス付きチャイム&アラーム) に対して…見通し50m
セレクトチャンネル数	256チャンネル
センサー探知方式	焦電型赤外線センサー
センサー探知範囲	水平約180°・約12m
動作保持時間	約20秒から約5分 ※ W-820 (ハロゲンライト150W)、PX-920 (ライト) の場合は点灯時間が約20秒～約5分の調節ができます。 PX-950 (ソーラーライト) の場合は点灯時間の調整に関係なく約20秒の点灯です。
本体サイズ	幅95mm×奥110mm×高さ145mm
結束バンドのサイズ	長さ420mm
設置場所	屋内、屋外用 (防雨タイプ)

#### ライト

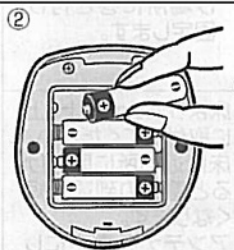
電 圧	AC100V
消 費 電 力	150W
受 信 周 波 数	315MHz
電 波 到 達 距 離	見通し30m
セレクトチャンネル数	256チャンネル
動作保持時間	約20秒から約5分…W-810 (センサー) やW-830 (センサー付ハロゲンライト)、C-800 (録画カメラ400shot)、PX-910 (センサー)、PX-930 (ライト一体型センサー180°) からの電波による 連続点灯 ※ PX-960 (リモコン) の "点灯" ボタンから受けとった電波により連続点灯します。 消灯は "消灯" ボタンを押すまで消灯しません。押し忘れた場合は約6分後に強制消灯します。
電源コードの長さ	5m
本体サイズ	幅140mm×奥150mm×高さ200mm クランプ除く
クランプの取付サイズ	厚85mm最大
設置場所	屋内、屋外用 (防雨タイプ)

### 3. センサーの電池の入れ方

#### 電池の入れ方



- 開閉ボタンを押し、裏蓋を外します。
- 乾電池には使用期限があります。乾電池に記載してある使用期限を確認してください。



- 単3アルカリ乾電池を4本入れます。
- 裏蓋を上爪に引っかけて閉じます。
- ※+-極性を間違わないようにしてください。

#### 電池の交換時期



- センサーが探知しても、ライトが点灯しなくなったり、点滅を始めたならセンサーの電池の交換時期です。



- センサーが探知し、センサーのレンズ内の赤色ランプが点滅を始めたなら電池の交換時期です。
- ※赤色のランプの点灯は人を探知した際に約2秒間点灯しますが、ライトの点灯中は探知しても点灯しません。

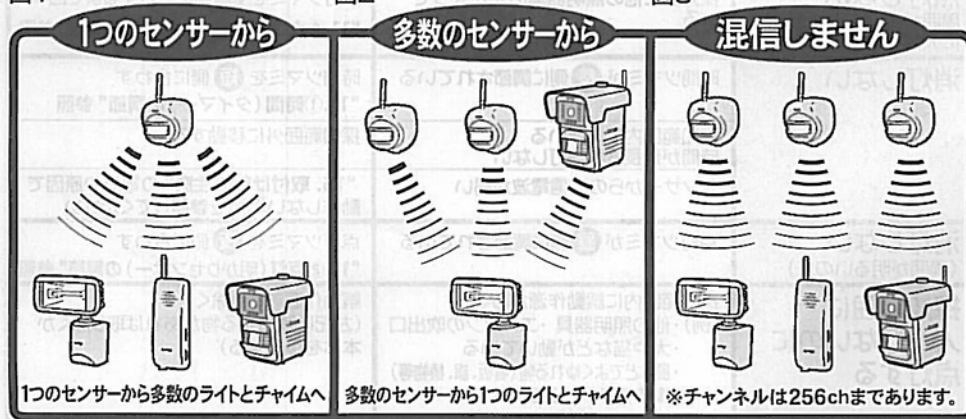
### 4. チャンネルの確認

- センサーとライトのチャンネルが同じ組合せか確認してください。(無線シリーズは出荷時に緑のチャンネルは1、黄色のチャンネルは9に設定していますので、そのまま使用できます。)
- センサーとライトを取付ける前にセンサーに電池を入れ、ライトに電源プラグを差しセンサーを動作(9.センサーのテスト動作を参照)させてライトが点灯すればチャンネルは同じ組合せです。次のページのチャンネルの確認は不要です。  
※点灯確認の際、ライトが点灯するとライト部は熱くなるので注意してください。
- チャンネルは256通りできます。緑のチャンネルで16切り替え、黄色のチャンネルで16切り替え、組合せは256通りできます。近所に同じ無線センサーライトを設置されていると混信し誤動作をしますのでチャンネルを切り替えてください。

図1

図2

図3

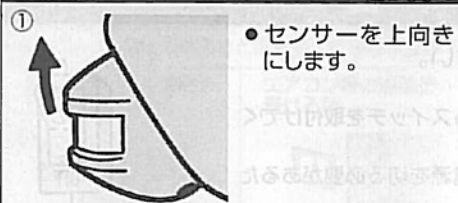


- ※1…発信機は、この他に、PX-910、PX-930、PX-960、C-800(録画カメラ400shot)も、使用可能です。
- ※2…受信機は、この他に、PX-920、PX-940、PX-950、C-800(録画カメラ400shot)も、使用可能です。
- ※3…2台以上の発信機が同時に発信した場合、受信機が動作しないことがありますが、故障ではありません。

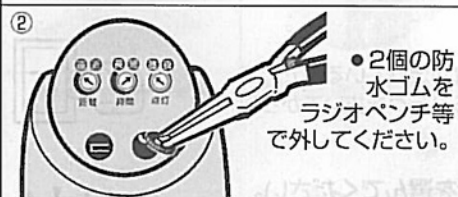
#### 組合わせのご注意

- ※PX-960(リモコン)では、C-800(録画カメラ400shot)を操作できません。

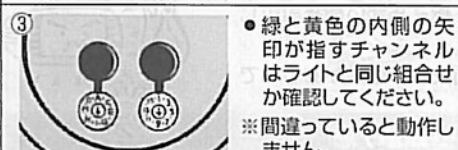
### 発信器センサーのチャンネルの切り替え



① ●センサーを上向きにします。



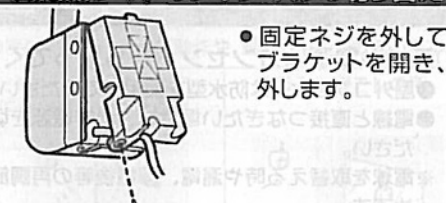
② ●2個の防水ゴムをラジオペンチ等で外してください。



③ ●緑と黄色の内側の矢印が指すチャンネルはライトと同じ組合せが確認してください。  
※間違っていると動作しません。

※チャンネルを合わせたら防水ゴムをもどしてください。しっかりと奥までつけないとゴムがはずれ、センサーの首振りの調整ができなくなります。ご注意ください。

### 受信器ライトのチャンネルの切り替え



●固定ネジを外してブラケットを開き、外します。



●防水ゴムを外してください。  
※差し込み部分は外さないでください。



●緑と黄色の内側の矢印が指すチャンネルはライトと同じ組合せが確認してください。  
※間違っていると動作しません。

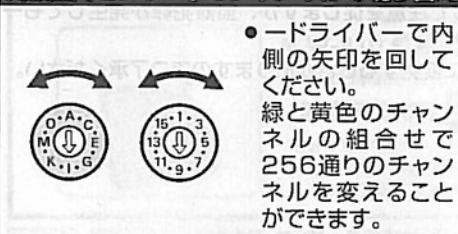
※チャンネルを合わせたら、防水ゴムをしっかりと奥まで戻してください。

## 5. チャンネル切り替え

チャンネルを切り替えることで、組合せが自在にできます。

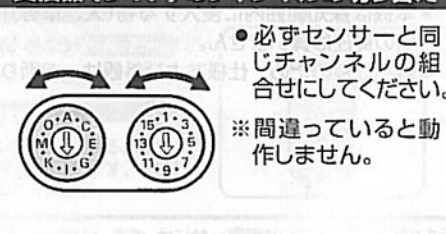
1. 同じ周波数の組合せであれば1台の発信器(センサー、センサー付ハロゲンライト)から受信器(ライト)、受信器(チャイム・アラーム)は何台でも同時に作動することができます。(4.チャンネルの確認、図1参照)
2. 発信器と受信器のチャンネルを組み合わせれば混信せずにペアーを組むことができます。(図3参照)  
※2台以上の発信器が同時に人を探知したときは、受信器が動作しないときがありますが故障ではありません。
3. 近所に同じ無線センサーライトを設置されていると混信し誤動作をしますのでチャンネルを切り替えてください。  
※発信器(センサー付ハロゲンライト W-830)と受信器(チャイム・アラーム W-840)も同様に組合せ自在です。

### 発信器(センサー)のチャンネルの切り替え



●ードライバーで内側の矢印を回してください。  
緑と黄色のチャンネルの組合せで256通りのチャンネルを変えることができます。

### 受信器(ライト)のチャンネルの切り替え



●必ずセンサーと同じチャンネルの組合せにしてください。  
※間違っていると動作しません。

## 6. ライトをクランプで挟む取付け方

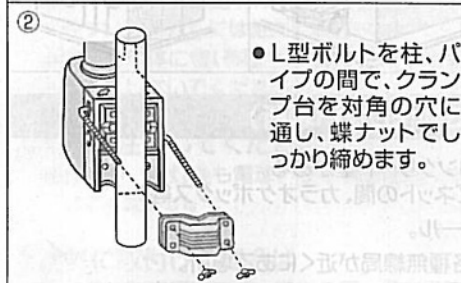
△注意 センサーとライトを取付ける前にその位置で動作するか確認してから取付けてください。クランプでの取付けは、万一落下しても事故の起こらない場所に取付けてください。

### 上向きの柱、パイプの場合



① ●L型ボルトをAの向きに奥まで差し込み、Bの向きに90°倒します。

対角にL型ボルト



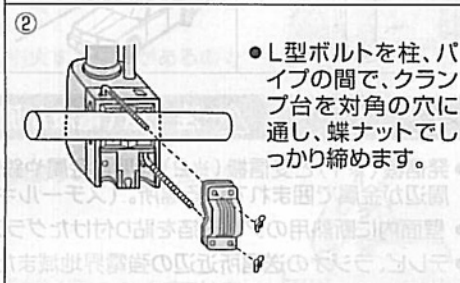
② ●L型ボルトを柱、パイプの間で、クランプ台を対角の穴に通し、蝶ナットでしっかり締めます。

### 横向きの柱、丸パイプへの場合



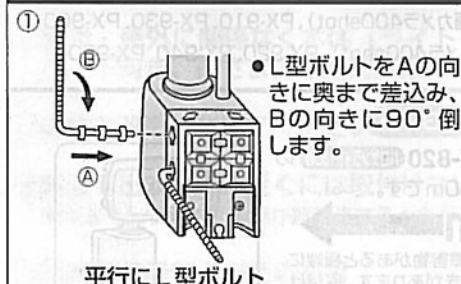
① ●L型ボルトをAの向きに奥まで差し込み、Bの向きに50°倒します。

対角にL型ボルト



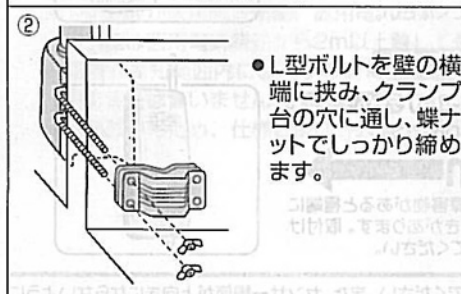
② ●L型ボルトを柱、パイプの間で、クランプ台を対角の穴に通し、蝶ナットでしっかり締めます。

### 壁の横端の場合



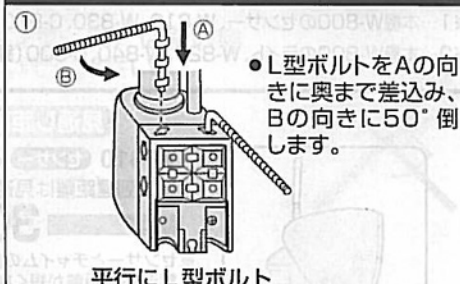
① ●L型ボルトをAの向きに奥まで差し込み、Bの向きに90°倒します。

平行にL型ボルト



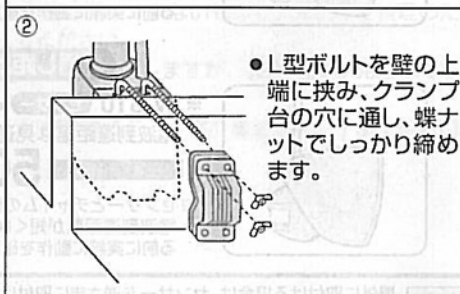
② ●L型ボルトを壁の横端に挟み、クランプ台の穴に通し、蝶ナットでしっかり締めます。

### 壁の上端の場合



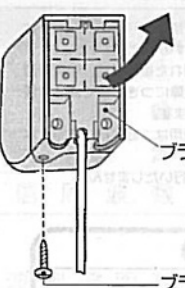
① ●L型ボルトをAの向きに奥まで差し込み、Bの向きに50°倒します。


平行にL型ボルト

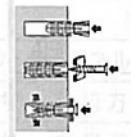


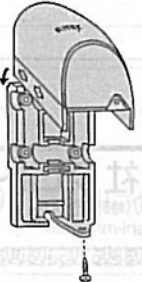
② ●L型ボルトを壁の上端に挟み、クランプ台の穴に通し、蝶ナットでしっかり締めます。

## 7. ライトをブラケットで壁に直接の取付け方

①  ● ブラケット固定ネジを外し、ブラケットを開き外します。


②  ● 壁等にブラケットの穴に通し、印を付けます。(アルミ板、薄鉄板の場合) 印に電気ドリル等でφ3.3mmの穴を開けます。(木はφ3mm)  
● 付属の取付けネジでブラケットを取付けます。

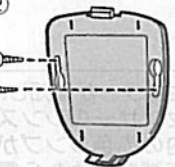
③ (コンクリートの壁の場合)  ● 振動電気ドリル等でφ6mmの穴を開け、付属のプラスチック製プラグを差込み、金づち等で軽く叩き、壁と面を合わせます。  
● 付属の取付けネジでブラケットを取付けます。

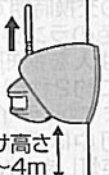
④  ● 本体をブラケットの上の爪を差込み取付け、ブラケットを固定させます。

## 8. センサーの取付け方


**裏蓋で壁に直接の取付けの場合**

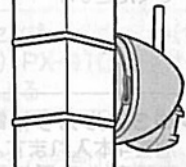
①  ● 開閉ボタンを押し、裏蓋を外します。

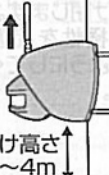
②  ● 付属のネジで固定します。コンクリート、アルミ、薄鉄板に取付けの場合は**7. ライトをブラケットで壁に直接の取付け方**を参照してください。

③  ● 床より1.5m以上、上に取付けてください。  
※ 床に近い所に取付けると電波の到達が短くなります。  
※ アンテナを真上にし  
取付け高さ 1.5~4m

**結束バンドの場合**

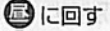
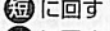
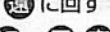
①  ● 開閉ボタンを押し、裏蓋を外します。

②  ● 裏蓋に結束バンドの筋のある面を内側にして通し、取付け場所に巻き付け固定します。

③  ● 床より1.5m以上、上に取付けてください。  
※ 床に近い所に取付けると電波の到達が短くなります。  
※ アンテナを真上にし  
取付け高さ 1.5~4m

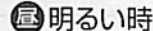

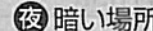
## 9. センサーのテスト動作

※ センサーの調節つまみは小さいドライバーで回し調節してください。  
※ ライト点灯の調節はセンサーからします。








<ul style="list-style-type: none"> <li>● 点灯つまみを  に回す</li> <li>● 時間つまみを  に回す</li> <li>● 距離つまみを  に回す</li> </ul> <p>遠近 長短 昼夜 距離 時間 点灯</p>	<p>● ライトの電源を入れる</p> <p><b>ライト消灯</b></p> <p>約30秒反応しない</p>	<p>● センサー探知範囲に入り、すぐに出る</p> <p><b>点灯→消灯</b></p> <p>約20秒後に消灯</p>
---	--	--

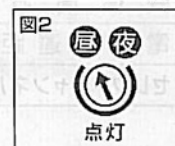
**注意** ● 点灯、消灯しない時は **17. 故障かなと思った時** 事項を参照してください。  
● ライトが点灯しない場合は、いったんセンサーの探知範囲から2分以上離れ再びセンサーに近づくとライトが点灯します。

## 10. センサーの通常動作

<p> 明るい時</p> <p><b>消灯</b></p> <p>● 点灯つまみを  に回す</p>	<p> 夜 暗い場所</p> <p><b>点灯</b></p> <p>探知範囲に入る</p>	<p>人がいなくなると</p> <p><b>消灯</b></p> <p>設定した時間後に消灯</p>
--	---	--

## 11. センサー調節つまみは小さなマイナスドライバーで回し調節します

- ① (時間) タイマー点灯保持時間 **約20秒~約5分**  
点灯時間の調節は、調節つまみを図1のように  (約20秒点灯) から少しづつ回し、その都度、点灯時間を確認し、調節してください。  
\* つまみ角度は時間とは比例しません。  
\* センサーの探知範囲に入り点灯を確認後すぐに探知範囲外へ出てください。  
\* 探知範囲に人がいつまでもいると点灯時間が延長され消灯しません。
- ② (点灯) 明かりセンサー  昼も夜も点灯・ 夜 暗い時だけに点灯  
点灯させる周りの明るさ調節は図2のようにつまみを  から  に、点灯を調節することができます。  
\* 夜でも他の照明の光が当たる時は  側に調節します。  
\* 実際に点灯させたい周りの明るさのときに調節してください。
- ③ (距離) 人感センサー  
感度の調節は、調節つまみを  へ回すと弱くなります。人以外にも動きのある熱源に探知しますので、小さな犬、猫やクーラーの熱、太陽光の変化等の誤作動を少なくしたいときに調節します。また探知距離も短くなります。
- ④ センサー探知距離、角度の調節  
● 探知角度を狭くしたい時は付属の探知角度調整シールを図3のようにセンサーレンズ側面部に貼ります。



## 12. センサーライトの探知範囲

■センサーは最長約12m×180°の範囲で動く人や車を探知します。

〈焦電型赤外線センサーの探知距離〉

●センサーに向かって左右に横切った場合  
(敏感に探知します)(本体取付け高さ2.5mの場合)

図1

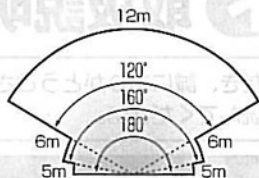
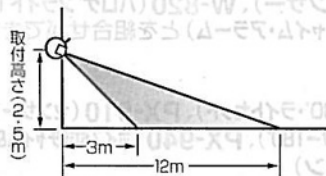
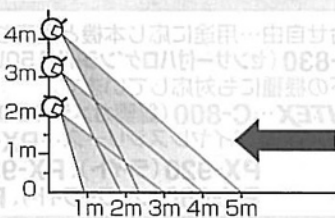


図2



■探知角度180°  
■探知距離12m

●センサーに向かって直進した場合  
(探知が鈍い)(本体取付け高さ2.5mの場合)



■探知角度180°  
■探知距離4m以下

\*センサーに向かって左右に横切った場合は敏感に反応しますが、センサーに向かって直進した場合は、極端に探知が鈍くなります。図1、図2の条件に合う場所に取付けてください。

\*夏場の周囲の温度が高く、人からでる体温との差が小さい場合は、探知が鈍くなり、ときには探知しない場合があります。

## 13. チャイム・アラーム(別売)

- 別売りの無線センサー チャイム・アラームは、本機のセンサーが探知して、チャイム・アラームを鳴らします。
- 用途に応じてチャイムかアラームの2種類の報知音に切り替えられます。

- ・チャイム… 爽やかなドアチャイムの音が来訪者の接近を知らせます。10mのコード付きで屋内に取付けてください。
- ・アラーム… サイレンが30秒間鳴り、侵入者を防ぎます。

## 14. 替球のお買い求めについて

- 替球は本機をお買い上げの販売店へご注文してください。
  - 尚、入手困難な場合は直接(株)プロトにご注文いただければお送り致します。
  - SA-151替球(ハロゲン球150W)は¥1,400(消費税・送料込み)
- 但し、代金は前金でお願い致します。郵便切手でも結構です。

## 15. 取付け前の注意 (取付けてはいけない所)

\*センサーは、周囲の明るさと温度変化に探知するので、図の場所に取付けると誤動作や、動作しない時があります。

<p>風などでゆれる植物やカーテン等の近く</p>	<p>エアコン等の送風を受ける所</p>	<p>大理石の床や壁等の光の反射を強く受ける所</p>	<p>ガラスや壁越しの所</p>
<p>強い振動を受ける所</p>	<p>車の通る道路に面した所</p>	<p>電波の強い所</p>	<p>取付け高さが4M以上又は1.5M以下の所</p>

### 注意 (電波が原因で動作しない場所)

- 発信機(※1)と受信機(※2)の間に金属や鉄筋コンクリート壁がある。周辺が金属で囲まれている場所。(スチールキャビネットの間、カラオケボックス等)
- 壁面内に断熱用のアルミ箔を貼り付けたガラスウール。
- テレビ、ラジオの送信所近辺の強電界地域または各種無線局が近くにある場所。
- 発信機(※1)と受信機(※2)の間の距離が離れすぎている。

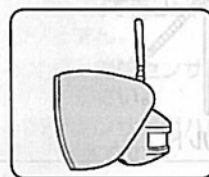
※本機の近くで携帯電話やPHS電話を使用している。

※テレビ、ラジオ、電子レンジ、蛍光灯、コードレス電話、FAX、パソコン、OA機器や家電製品から2m以上離してください。

※1…本機W-800のセンサー、W-810、W-830、C-800(録画カメラ400shot)、PX-910、PX-930、PX-960

※2…本機W-800のライト、W-820、W-840、C-800(録画カメラ400shot)、PX-920、PX-940、PX-950

### 見通し距離で約30m



※ W-810(センサー)とW-820(ハロゲン球150W)の電波到達距離は見通し30mです。

30m

※センサーとチャイムの間に障害物があると極端に電波到達距離が短くなることがあります。取付ける前に実際に動作を確認してください。



### 見通し距離で約50m



※ W-810(センサー)とW-840(チャイムアラーム)の電波到達距離は見通し50mです。

50m

※センサーとチャイムの間に障害物があると極端に電波到達距離が短くなることがあります。取付ける前に実際に動作を確認してください。



**注意** 屋外に取付ける場合は、センサーを逆さまに取付けてください。また、センサー調節が上向きにならないようにしてください。水の侵入のおそれがあります。

## 16. ⚠️ 警告

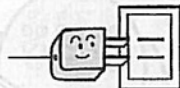
### ① ライト電源はコンセントから取ってください。

- 屋外コンセントは防水型を使用してください。
  - 電線と直接つなぎたい場合は、必ず電源を切れるスイッチを取付けてください。
- ※ 電球を取替える時や漏電、停電後等の再調節で電源を切る必要があるためです。



### ② 電球を取替える時は

- 電球は消灯していても、本機の電子回路には電気が流れているので、突然ライトが付くと危険です。必ずコンセントからプラグを抜いてから取替えてください。



### ③ 取付け場所は、燃えやすい物が近くにない所を選んでください。

- ライト部、特に透明ガラス部は高温になります。燃えやすい物や引火しやすい物の近くには絶対に取付けしないでください。
- 屋でも本体に物(布団や布等)を被せると点灯し引火する危険があるので絶対にしないでください。



### ④ 火傷に注意してください。

- 点灯中、消灯後も電球、ライト部は熱くなっていますので絶対に触れないでください。



### ⑤ 屋外に取付ける場合は

- 本機は防雨構造です。通常の雨、風には耐えますが、防水タイプではありませんので、大量の水のかかるような所には取付けしないでください。
- \* 防雨構造はIP-44電気機械器具の保護等級について許可を受けた規格です。

### ⑥ 屋内・屋外に関係なく本体(ライト・センサー共)は斜め向き、下向き、逆さまには絶対に取付けしないでください。

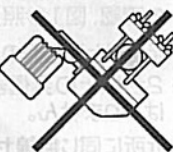
### ⑦ 本機を改造しないでください。

### ⑧ 電波を出す器具の近くには取付けしないでください。

- 電波を出す器具や本機が誤動作するときがあります。

### ⑨ 医用電気機器に与える影響

- 送信電波が医用電波機器、医用電気機器に与える影響は極めて少ないものですが、安全管理のため発信器は医用電気機器から2m以上離して使用してください。
- \* 本機は探知範囲内に侵入する物(人、車等)に対して注意を促しますが、盗難犯罪が発生しても一切の責任は負いません。
- \* 製品改良のため、仕様および外観は、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。



## 17. 故障かなと思った時

現象	考えられる原因	処置
点灯しない 探知範囲に人がいるのに 点灯しない	ライトに電源が入っていない	電源プラグが抜けていないか確認する (家庭用コンセントに差す)
	センサーの電池がない、また+-極性を間違っている	電池交換と+-を確認する
	センサー探知範囲の設定が適切でない 本機に向かって真っすぐ接近している	探知範囲を調節する (センサーを探知させたい方向に向ける)
	センサー探知部(センサーレンズ)が汚れている。 蒸気や雨などの水滴が付いている	探知部(センサーレンズ)をやわらかい布で傷が付かないようにふき取る
点灯しない ライト本体(センサー内部)からカチカチ音がする	電球が切れている	電球を交換する
	電球を正しく取付けていない	電球を正しく取付ける
点灯しない 周囲が暗いのに探知範囲に人がいても点灯しない	探知部に他の照明器具の光が入っている	点灯ツマミを③側に点灯するまで回す "11.②点灯(明かりセンサー)の調節"参照
消灯しない	時間ツマミが④側に調節されている	時間ツマミを③側に合わせる "11.①時間(タイマー)の調節"参照
	探知範囲内に人がいる 時間が延長され消灯しない	探知範囲外に移動する
	センサーからの送信電波が弱い	"15. 取付け前の注意"の電波の原因で動作しない場所を参照してください
消灯しない (周囲が明るいのに)	点灯ツマミが⑤側に調節されている	点灯ツマミを④側に合わせる "11.②点灯(明かりセンサー)の調節"参照
探知範囲に 人がいないのに 点灯する	探知範囲内に誤動作源がある (例)・他の照明器具・エアコンの吹出口 ・犬や猫などが動いている ・風などでよくゆれる物(看板、旗、植物等) ・車の熱やヘッドライト ・強いノイズ(無線ノイズ等) "15. 取付け前の注意"参照	誤動作源を取り除く (左記に該当する物があれば取り除くか 本体を移動する)
	探知範囲の外側近くに道路があり、自動車や人の動きを感知している	探知範囲を規制する "11.④センサー探知距離、角度の調節"参照
	ライトの光が直接センサーに当たっている 近所に同じ無線センサーライトが設置されている	ライトをセンサーから離す チャンネルを切り替える "5.チャンネルの切り替え"参照
探知範囲に 人がいるのに 消灯する	電源を投入した直後(停電直後)	時間(タイマー)経過後、消灯することを確認する "11.①時間(タイマー)の調節"参照
	時間ツマミが③側に調整されている	時間(タイマー)ツマミを④側に設定する "11.①時間(タイマー)の調節"参照
	探知範囲内で人が静止している	本センサーは静止している人には性能上探知できません
チャイム・アラーム 人がいないのに 反応する (チャイム・アラームは別売り)	探知範囲内に誤動作源がある ・昼は特に太陽光の変化を受けやすい ・風などでよくゆれる物(看板、旗、植物等) ・車の熱やヘッドライト ・強いノイズ(無線ノイズ等) ・犬や猫などが動いている	・誤動作源を取り除く(探知範囲を調節する) (左記に該当する物があれば取り除くか 本機を移動する) ・探知範囲を規制する(センサーの向きを変える、センサーに黒テープを貼る) "11.④センサー探知距離、角度の調節"参照